

**東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。

当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

ウイルス性肝炎の薬剤耐性が及ぼす病態変化に関する研究（多施設共同）

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、インターフェロンフリーの内服抗ウイルス薬による治療不成功例の薬剤耐性を分析し耐性変異と治療効果との関連性を明らかとすることを目的とした共同研究を実施するためです。

【研究の対象となる方】

2017年4月1日 から 2020年3月31日 までの間に、
当院の消化器内科で肝炎等克服実用化研究事業「C型肝炎インターフェロンフリー治療の実態と不成功例に対する全国規模の診療指針に関する研究（多施設共同）」の説明を受け同意をされた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2025年3月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・ 試料：血液検体
- ・ 診療情報等：年齢、性別、インターフェロンフリーの内服抗ウイルス薬治療内容（治療期間）、治療効果（ブレイクスルー、再燃、中止）、検査結果（血液検査）、C型肝炎ウイルスNS3・NS5A・およびNS5B阻害薬耐性変異

【情報の提供先・提供方法】

上記の試料・診療情報等を薬剤耐性変異の解析のために、研究代表施設／武蔵野赤十字病院消化器科へ電子的配信にて提供します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- ・研究代表機関：武蔵野赤十字病院
- ・研究代表者：消化器科 部長 黒崎 雅之

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

研究分担施設	研究責任者
旭川赤十字病院消化器内科 副院長	長谷部 千登美
大阪赤十字病院消化器内科 主任部長	丸澤 宏之
松山赤十字病院肝胆膵センター 副院長	上甲 康二
京都第一赤十字病院消化器内科 部長	木村 浩之
東京医科歯科大学消化器内科 教授	朝比奈 靖浩
山梨大学医学部附属病院消化器内科 臨床助教	鈴木 雄一郎
北海道大学病院消化器内科 助教	荘 拓也
大阪大学医学部附属病院消化器内科 学内講師	阪森 亮太郎
国立国際医療研究センター・肝炎・免疫研究センター センター長	考藤 達哉
全国49施設の日本赤十字病院	
全国肝疾患診療連携拠点病院	
全国肝疾患診療連携拠点病院以外の医療機関	
北海道システムサイエンス	
LSI メディエンス	

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2225）

研究責任者 消化器内科 加川 建弘